



『オペラ座の怪人』のワンシーン。本作は今年で日本上演30周年を迎える(撮影:寒者恵二郎)。

になると考えています。はじめに、外に出ていく戦略ですが、『オペラ座の怪人』や『キャッツ』などは、オリジナルの著作権者からライセンスを受けて日本でも上演していますので、契約上、これらを海外で上演することはできません。そこで、四季が創作したオリジナル作品の上演権を、海外の制作会社に供与するというライセンス事業を進めています。昨年からのスキームで、『人間になりたがった猫』というオリジナルミュージカルが中国で上演されています。中国との関係については、劇団四季の創設者で、演出家の故・浅利慶太先生が以前から交流を続けてきた経緯があります。その基盤があったからこそ、今回のライセンス供与が実現しました。浅利先生は「政治の時間と文化の時間の進み方は違う。常に文

― 今後、劇団四季を成長・発展させていくためのお考えをお聞かせください。
浅利先生は、「生命保険会社は『安心』を、家電メーカーや自動車会社は『便利』を売っているように、私たちは『感動』を売っているのだ。演劇だけが特別ではない。商品は異なっても、お客さまに届けるプロセスは一緒なのだから、普通の会社のように経営すれば良

「感動」を届けるプロフェッショナルとして

化が政治の何歩か先を行かなければならない」ということをよく話してしました。私たちはその思いを継承し、ビジネスの面だけでなく、時間をかけながら海外との文化交流を継続していきたいと思っています。
それから、外国人観光客の方を対象とした戦略という点では、「字幕グラス(二レンズを通じて舞台を観ると、下部に字幕が映し出される眼鏡)」を用いてハンズフリーで舞台が楽しみたいだけける多言語字幕サービスを導入し、現在、福岡で試験運用を開始しています。英語や中国語(簡体字・繁体字)、韓国語の3言語に対応しているほか、日本語も用意しており、外国人の方だけでなく、聴覚に障害をお持ちの方にも好評をいただいています。このサービスを本格化することで、海外からの旅行者が日本の舞台を観てくれるようになればうれしいですね。

クローズアップインタビュー

美しい旋律と魅力的なストーリー 日本上演30周年の より洗練された『オペラ座の怪人』をぜひ、ご覧ください。

四季株式会社
代表取締役社長

よし だ ち よ き
吉田 智 誉 樹 氏

プロフィール

1964年6月8日生まれ。横浜市出身。血液型A型。慶應義塾大学文学部を卒業後、1987年四季株式会社入社。2004年執行役員広報部長、2008年取締役広報宣伝担当。2014年より現職。趣味は読書で、純文学、ミステリーとジャンルは多彩。「ビジネス書はあまり読みませんが、作家の池井戸潤さんとはプライベートでも仲よくさせてもらっていることもあり、彼の作品はほとんど読んでいます。小説の中で社長が社員に向かって話す場面がたくさん出てくるのですが、池井戸さんほど社長の気持ちが分かっている作家はいないように思いますね」と話す。



見どころ、聴きどころが盛りだくさんの作品

― この秋、10月22日に仙台で開幕を迎える『オペラ座の怪人』の魅力を改めてお聞かせください。

美しい音楽で紡がれるこの作品は、英国ミュージカル界の巨匠である、作曲家アンドリュー・ロイド・ウェバーの最高傑作です。本作にはセリフがほとんどなく、全編を通して歌で筋が運ばれていきます。そのメロディーの構成は巧みの一言で、実に精緻で美しい。また、名作オペラへのオマージュ(敬意)が散りばめられており、それを見つめる楽しみもあります。もちろんストーリーも魅力的で、怪人とクリスティーン、ラウルという3人の主要キャラクターの心の動きが非常によく描写されていますので、物語に入り込み、非日常の世界を存分に楽しめる作品になっています。

― 本作は17年前にも仙台で上演されましたが、前回公演と異なる点や、新たな見どころについて教えてください。
昨年の横浜公演から、音楽面が若干変更され、オーケストラも新たに録音し直しました。既にご覧になられた方々からは、「これまでとは印象が違う」といった感想をいただいています。お芝居というのは、舞台の上の俳優たちとお客さまとの交流によってつくられるものだと思います。お客さ

い」と、いつも話していました。例えば、1983年の『キャッツ』初演時、四季は「感動をお客さまにお届けするための道のりには、できるだけ障害がない方がよい」という考えから、日本で初めてコンピューターチャケットティングを開始しています。劇団の歴史や理念を受け継いだ上で、いつも「イノベーションを起こす側でいたい」と思っています。

― 最後に、仙台の皆さんにメッセージをお願いします。

『オペラ座の怪人』は、ミュージカル初心者の方にも十分にお楽しみいただける作品だと思います。ミュージカルをまだ見たことがないという方も、この機会にぜひ、劇場に足をお運びください。

【概要】 四季株式会社

代表者：代表取締役社長 吉田 智誉樹
設立：1953年7月14日
資本金：4億9725万円
従業員数：261人(2017年12月末現在)
所在地：横浜市青葉区あざみ野1丁目24-7
ミュージカル『オペラ座の怪人』仙台公演
2018年10月22日(月)開幕
会場：東京エレクトロンホール宮城(宮城県民会館)
主催：宮城県/仙台市/仙台商工会議所/河北新報社/劇団四季
ホームページ：<https://www.shiki.jp/>



やがて生まれ来る子供たちのために。

宇宙のオアシス『地球』。ただひとつの、この青い星を守って行かなくてはなりません。
大切な人のために、そしてやがて生まれ来る子供たちのために。
私たちは、よりよい環境をめざし、考えつづけます。



より良い環境をめざす
AOBA 青葉環境保全
本社/仙台市若林区蒲町19-1 電話(022)286-3161(代)

外国人の方にも楽しんでもらう戦略

― エンターテインメントが多様化する今、「演劇」はどのような位置づけにあるとお考えですか。

ライブ・エンターテインメント全体についてですが、ぴあ総研が提供している数字によりますと、ここ10年ほどは上演回数や動員数、売り上げも右肩上がりが増えていきます。消費トレンドが「モノ」から「コト」に移行してきたことが要因だと思いますが、少子高齢化が進む今、長期的に見れば私たちの業界にも厳しい時代が訪れることは避けられません。四季に限らず、舞台をよく観てくださるお客さまの年齢構成は、生産年齢人口(15歳以上65歳未満)とほぼ重なります。今後の日本社会は、この生産年齢人口がかなりのスピードで減少すると言われているので、十分な備えが必要です。

具体的には、日本の外に出て行く戦略と、日本国内に旅行で来られる外国人観光客の方を対象とした戦略が必要

まが変わることで舞臺の雰囲気は変わりますし、それによって作品の印象も変化すると思います。そうした違いもお楽しみいただけるとうれしいですね。とはいえ、作品をご覧になれる際は事前の勉強など必要ありませんので、どうぞリラックスしてお楽しみください。